

2016年度事業計画（案）

特定非営利活動法人 市民活動フォーラムみのお



★1. 事業計画の基本方針

☆ NPOの自立性を高めます

多様な資金調達の方法を探りながら地域やNPOへの寄附啓発の機運を高めます。また、「みのお市民活動支援金制度」の活用を通して、NPOの自立的事業実施の支援を行います。

☆ セクター間の連携を推進します

これまでの実績を踏まえつつ、地域や近隣の大学、企業・店舗と連携した事業を実施し、協働した事業実施等を通して、多様なセクター間をつなぐ、ゆるやかなネットワークを広げていきます。

☆ NPOの担い手を増やします

今後の市民活動の発展のため、これから社会を担う若い世代の関心をNPOに引き寄せたり、セカンドステージを迎える定年退職者へ市民活動の紹介をしたりすることを通じて、NPOのファンや担い手になってくれる人材を増やしていきます。

(1) 市民活動サポート事業（受託事業）

指定管理者の第4期に向けて、中間支援センターとしての役割をより具体的にアピールし、地域課題の解決に向かう市民活動の基盤強化と多くの人に共感を促すようなセンター事業を開発し、市民活動のすそ野を広げていく。

昨年度まとめたNPOの実態調査結果を基にデータベースを構築し、WEB上で市民活動を啓発、促進する効果的な発信や具体的な改善策を提示していく。

また、中間支援の役割を担うセンターとしてコンサルタント機能を強化し、団体同士が各分野の強みを相互に学び合う機会を提供し、NPOの成長段階に合わせた支援施策の展開を図る。

1) 非営利公益市民活動に係る情報収集及び提供に関すること

① 情報の収集及び発信

・ ホームページ管理運営

ホームページを管理・更新し、センターとして開催する講座や支援金の募集・交付に関する情報を発信する。また、ニュースレター等の発行物をPDFによりWEB上で提供する。

さらに、昨年度実施した市民活動団体の実態調査アンケートのデータを蓄積し、公開可能な団体基本情報もWEB上で提供し、随時更新をする。

日々の情報については、センター指定管理者が運営するブログ等と連動し、活用する。

・ 専門的情報収集

他の中間支援組織との情報交換、各種講座、交流会への参加、先進地域への視察などによる、中間支援に関わる専門的情報の収集をする。

- ・ **人材バンク(サポーター登録)**

行政と連携して市民活動・ボランティアに参加したい市民の登録を受付けて管理し、市民活動団体や活動につなげる機会を提供する。また、若い世代に向けてスマホ対応のV-info等、WEB上でのボランティア情報の充実を図る。

② ニュースレター発行業務 配布部数:1000部(年2回程度)

各公共施設、官庁、市民活動団体等に配布する。

規格:A4版4頁カラー 配布部数:1,000部

2) 非営利公益市民活動に係る講座の開催、その他啓発に関わること

① NPOフェスタの開催(年1回)

期間を11月の約1か月で開催するものとし、20日をメインイベントとして実施する。前後で活動紹介などのパネル展示やNPOフェスタの冠事業を募集し、会場を提供する。また、さまざまな市民活動のフィールドに興味を持つ仕掛けとして、周辺店舗と連携した市民活動の啓発を行う。

② NPOスキルアップ講座の開催(年6回)

NPOを対象とした、組織マネジメント、広報や企画のスキル等の向上をめざす講座、および学生等、現在のNPO関係者以外も対象に、市民社会の成熟・発展に関する啓発を目的とした講座を開催する。また、市民の声や社会課題などから想定するテーマを並べて選択できるワンコイン講座を開催する。

③ 施設を活用した非営利公益市民活動の啓発、交流促進

館内に導入して啓発するしきけとして、フレキシブルコーナーに、ギャラリーやチャレンジショップ、カフェ等の機能を持たせ、周辺店舗と連携して利用者を増やす工夫をする。

また、かやのさんpei橋の交流スペースを、NPOフェスタ等、広く市民にアピールするイベントの実施やNPOの啓発を目的とした会場として提供する。

3) 非営利公益市民活動に係る相談に関すること

① 各種専門家相談事業(年2回)

団体の会計処理に関する事、法人の税務、労務など、専門的な相談を行う。

個別相談の形式だけでなく、必要に応じて講座形式も組み合わせて実施する。

② 一般相談

センタースタッフによる、市民活動などに関する日常的な相談を行う。

相談内容をデータとして集積し、スタッフ間での共有やフォローアップに利用する。

また、相談記録の傾向等を分析して、支援事業の企画に活かす。

4) 非営利公益市民活動に係る交流の促進に関すること

① 利用者協議会の開催(年1回程度)

外部評価の一環としての利用者の意見聴取の実施も兼ねて実施する。

利用料減免団体等に声をかけ、センターの利用や運営に関する意見交換、および、利用者同士の情報交換、交流も図る。

② 子育て支援ネットワーク交流会(年1回程度)

子育て関連団体のネットワークを図り、情報交換の場や団体のマッチングの場を提供して子育て環境の基盤整備や活動の充実を図る。

③ 地域資源活用による地域コミュニティの活性化

大学等の地域資源を活かして多様な人々の交流を促進することで、地域コミュニティの活性化を図る。また、3年後の北急延伸に伴い、かやの中央周辺の新たなまちづくりに向けて、市民活動の役割などについての意見交流の場を提供する。

5) 非営利公益市民活動に係る調査・研究事業

① 算面市の市民活動実態調査の活用

昨年度にまとめた市民活動団体の実態調査アンケートの分析から、さらに地域課題の解決のために必要な活動の支援を探り、センターとしての具体的な役割を図る。また、団体のボランティア募集情報や活動紹介などをWEB上でも提供してNPOの活性化に努める。

② ポータルサイト研究会

アンケート調査分析に基づき、団体の課題解決や活動支援を目的としたポータルサイト設立に向けて立ち上げた研究会を継続し、団体のニーズや検索方法、必要な機能について協議し、センターの情報提供のあり方を整理して、効果的にリニューアルを図る。

6) 非営利公益市民活動に係る支援に関すること

① みのお市民活動支援金事業

募集、申請受付、審査実施、交付決定、結果報告の確認など一連の事務を行う。

申請や実施についての相談は一般相談事業や他の事業と連動し、昨年度よりスタートさせ希望する団体への専門家によるコンサルタントアドバイスなど、団体のスキルアップや組織強化などにつなげるフォローアップを行う。

② みのお市民活動支援金報告会の開催(年1回)

市民活動支援金交付団体の報告会を翌年度の4月に行い、報告する団体同士が評価し合う場であり、参加者が共感する事業に投票してもらう総合評価の仕掛けをするなどして、より多くの人の参加を促す報告会にする。

交付団体は基本的に報告会に参加してもらい、より多くの市民に支援金事業を知ってもらう機会を提供する。

7) 非営利公益市民活動に係る場所及び施設の提供に関すること及びセンターの施設の利用に関すること

① センター管理業務

センターの施設及び付属設備備品提供に関する業務。一般相談業務。住民票、印鑑証明書等の一部証明書発行業務。市民活動団体の場の提供と情報提供。

センター開設利用時間 9：00～22：00

休館日 臨時休館日、年末年始（12月29日～翌年1月3日）

（2）自主事業の展開

第3期目3年目に入るみのお市民活動センター指定管理者として、今後の2年間は、新たなかやの中央のまちづくりを見据えた中間支援組織としての役割を、積極的に果たしていきたい。

また、団体の課題である資金循環に向けて、今まで培ってきたネットワークや情報収集と提供などを駆使して、さらなる基盤強化を図っていく。

3. 11東日本大震災の復興支援に関しては、5年を経過した今後の復興支援のあり方を踏まえた支援活動の展開を行う。そして、新たな熊本地震への支援も、箕面市社協等と連携した協力体制を作り今後の支援活動に繋げて行きたい。

5年間実施してきた「チャリティタウンプロジェクト」に関しては、見えてきた課題や今後の展開を検討して次のステップに繋げるため、一旦終了とし、今後の寄附啓発に向けた、さらなる支援の形を模索していく。

また、昨年度まで活動していた「学生ソーシャル広報チーム“Promo”」は、チームから個人に主流を移して、新たに始めたV-infoの情報発信と連動した人材育成として力を入れて行く。

1) 市民活動に関する情報の収集・提供

自主事業を中心としたニュースレターの発行と、会員やサポーター向けのメールニュースの配信を行なう。また、ホームページを更新し、市民活動に関わる情報を発信する。

① ニュースレター（名称「市民活動フォーラムみのおニュースレター」）の作成と発行（年2回程度）

市民活動フォーラムみのおの自主事業を中心に、特集や研修報告など、市民活動フォーラムみのおの独自性をアピールするニュースレターを発行する。活動に共感する店舗等の協賛を募りながら、設置協力店舗も広げて行く。（現在約14店舗）

② メールニュース（名称「かわら版」）及びサポーターニュースの配信（月2回）

会員や行政に向けて配信（約80件）。フォーラムみのおが関係する事業や団体会員の事業を紹介する。また、市民活動フォーラムみのおの人材バンクに登録されているサポーターに対して、「かわら版」にボランティアの募集を付加した「サポーターニュース」を配信する。

③ フォーラムみのおのホームページの管理運営

市民活動フォーラムみのおのホームページを管理・運営し、自主事業をはじめ、市民活動に関する情報提供を行う。

2) 連絡、相談、啓発、支援

◆活動支援事業

箕面市を中心に活動展開する市民団体の活動支援を、資金循環システムの具体策として、市民活動応援ファンドなどの事業を通して進めていく。

① 市民活動応援ファンド

ここ数年は、寄付金募集を中心に準備を進めてきたが、東日本大震災の復興支援N P Oへの募金活動が中心になり、ファンド自身の存在が目立たなくなっているのが現状である。しかし、今年度は当法人の資金調達という大きな課題もあり、地道ではあっても資金調達を促す仕組みとして活用していきたい。

② チャリティタウンプロジェクト

団体の継続した活動のための資金調達を目的として、寄附付き商品キャンペーンの実施は、昨年度で一旦終了とし、今後の寄附啓発の新たな展開に向けてより効果的な方法を探る。

ただし、単発で行うチャリティイベントや店舗との連携事業などは、必要に応じて企画し実施していく。また、このプロジェクトで培った提携店舗の協力体制を基盤に、N P Oと店舗との連携促進を図っていく。

③ 活動・情報の交流会等の支援

子育て支援や環境保全等の活動・情報の交流会や、かやの中央まち育て交流会と連携する「まんどろ火祭り」の開催、さらに5年後の北急延伸に伴う市民活動の動きやまちづくりに関する意見交流の場など、さまざまなネットワークの場を提供し、情報交換や活動の交流を図る。

④ 活動支援講座の開催（事務力アップセミナー&検定）

事務力アップセミナー&検定事業の3年目を迎える、主催団体や会場候補をより拡充する方向で北摂の中間支援団体と連携した事業を企画・開催する。

3) 市民活動に関する人材育成

◆人材育成

これからまちづくりを担う若手の人材発掘、企業退職者などの活動支援、市民団体の日常事務をサポートするために講座等を開催する。

また、あらたに設けた学生会員を増やし、N P Oのスキルを身につけるセミナー等を開催して、大学生のN P Oの関心と専門性を箕面のN P Oにつなげていく。

① 出会いの広場事業

これから何かしたいと思う市民に向け、気軽におしゃべりをしながら個々の事情に沿ったピアサポート的なサロンを随時開催しながら、市民活動に興味を持つ機会を提供する

② サポーターへの対応

サポーター制度に登録していただき、NPOの活動補助やイベントのサポート等の参加呼びかけを継続的に発信。サポーターの記録を構築し、活動に対しての感謝状を出すなど、サポーターとしてのモチベーションを保つよう、情報提供をする。また、専門的スキルを持ったプロボノサポーターの発掘を進め、団体や事業等に積極的につなげていく。

③ 地域との連携(ボランティア受け入れ等)

学校のボランティア演習や職業体験、市職員向け人権セミナーでのNPOの啓発など、センターや関連団体が受け入れのフィールドになつたり、活動の紹介をしたりすることで、地域との連携を深める。

④ 高校啓発事業

箕面東高校のワールド「社会福祉入門」授業で、高校生にさまざまな分野のNPOを紹介、啓発する授業を行う。

⑤ 学生ソーシャル広報プロジェクト“Promo”

次世代の担い手の育成を目的にして、この2年間で主に広報の学習を中心にNPOの活動と社会課題の発信を共有する手法を継続させて、チーム育成から個人レポーター育成を主眼にしてvinfoによる情報発信等を活用した新たな人材を発掘する。

4) 社会的環境の整備

① 団体との連携

(ア) ボランティアフェスタ「いきいきまつり」(ボランティアセンター運営委員会兼務)

箕面市社会福祉協議会ボランティアセンターと連携して実行委員会に参画する。

(イ) かやの“お宝”人権まつり

らいとぴあ21と連携して実行委員会に参画する。

(ウ) みのお市民人権フォーラム

みのお市民人権フォーラム実行委員会に参画する。

(エ) 聖母被昇天学院アサンプションチャリティー

聖母被昇天学院と連携してイベント企画に参画する。

② ネットワーク構築

(ア) 箕面市内の非営利中間支援組織のネットワーク「もっとネット会議」の開催

市内5団体との連携で、月1回程度の事務局レベルの情報を中心とした交流を行なう。

●構成団体 (社福) 箕面市社会福祉協議会ボランティアセンター

NPO法人みのお山麓保全委員会

(財) 箕面市国際交流協会

(財) 箕面市文化振興事業団

タッキー816 みのおエフエム ※主幹：(特活) 市民活動フォーラムみのお

(イ) 企業・大学との連携

昨年度から連携している阪大ボランティアセンター構想を進める阪大学生グループや企業とのコラボレーションを探る中で、大学や企業との連携を深め、相互協力や協働事業などを図っていく。

5) 他団体や市民との連携事業

① 来館啓発及び表現活動の場の提供

(ア) ほっとコンサートの開催(年3回程度)

センターの周知とにぎわいづくり、市民グループの発表と交流の場の提供、サポーターの活躍の場を目的に、年3回程度開催する。

(イ) 箕面在住アーティスト展

センターの周知とにぎわいづくり、箕面市に在住するアーティストの発掘と紹介を目的に、随時開催する。

(ウ) アートの広場(随時)

センターの周知とにぎわいづくり、箕面市に在住するアーティストの発掘と紹介を目的に、廊下の壁面のスペースを利用した作品の展示を、随時開催する。

② 中間支援組織の研修

(ア) KNNへの参加

関西N P O支援センターネットワーク（KNN）に参加し、他市支援センタースタッフ等と交流し、連携、情報交換を行なう。

(イ) スタッフ研修

N P O支援センタースタッフのスキルアップを向上させるため、研修や勉強会に参加する。

(ウ) 近隣の中間支援組織と連携した交流会や研修

北摂地区中間支援組織のスタッフを対象に情報交換や勉強会など、それぞれの拠点を連番制で訪問しながら交流会を開催する。

③ 5年後、さらにその先を見据えた中間支援組織のあり方について意見交流会

中間支援組織として、5年後の市民活動の拠点のあり方や、かやの中央が箕面のまちの玄関として多くの人を迎える機会を、市民活動の啓発どのように活かせるのか、次の5年を迎えるまでに関係団体や市民活動団体と連携して意見交流・情報交換を行う